

糸満市こども・若者計画への こども・若者等の意見の反映状況について

アンケート・ワークショップの目的

糸満市では、子ども・若者がより良い生活を送れるまちをつくるために

- 子ども・若者と大人が一緒に社会づくりに参加すること（社会参画）
- 子ども・若者が自分の意見を伝えられる場をつくること（意見表明）
- その意見を市の計画にしっかり反映していくこと（意見反映）

を大事にしています。

今回はアンケートとワークショップを実施しました。今後もこうした機会を設け、子ども・若者の声を大切にし、子どもや若者に対する取り組みに反映させていきます。

I こども・若者の意識と生活に関するアンケート

- 令和5年12月12日～12月28日アンケート実施

糸満市小学校5年生全員、中学校2年生全員

- 令和7年8月1日～8月22日アンケート実施

市内在住16歳～39歳 5,000名（無作為抽出）

II ワークショップ開催

- 令和7年11月22日（土）10:00～12:00

○糸満市内の在住・在学の高校生や大学生 16～27歳（公募）

ワークショップ概要

若者の意見を把握し、計画策定に反映するために、糸満市若者ワークショップ「**高校生と大学生が将来の糸満市を考え／伝える**」を実施しました。

実施要領

テーマ	糸満市が若者の夢や目標を実現できるまちになるために必要なこと
日 時	令和7年11月22日（土）10:00～12:00 場所 糸満市役所
目的	「糸満市こども計画（仮称）」の策定にあたり、こどもや若者、子育てに関する取組みをよりよく進めていくために、当事者であるこどもや若者の意見を聞き、計画に反映させる。
応募方法	糸満高校、沖縄水産高校の全校生徒へのチラシ配布 糸満市市民活動支援センターのSNSから広報 その他行政や学校各関係者より学生にチラシの案内



ワークショップの様子



子ども・若者の意見のまとめ方

みんなの意見を受け止め、計画に反映できるかをみんなで考えました。

意見のまとめ

みなさんからもらった意見をまとめました。



計画の検討

意見を元にどういったことができるかを糸満市役所の職員で検討しました。



子ども・子育て会議

子ども・若者に関わる方たちと一緒に、必要な取り組みについて話し合いを行いました。



見えてきた課題をもとに、計画に反映しました。



ワークショップ・アンケートの意見と糸満市こども・若者計画への反映状況

※新たな施策を中心に、こども・若者の社会参画、居場所、学習・就労支援、生活環境に関するものを抜粋しています。

●ワークショップ ★アンケート

意見

こども・若者の権利や社会参画

★市民の声をひろって対策を立ててほしい。
一人ひとりの声を反映してほしい。

★こども若者に対する取り組みが全く分から
ない。広報などで伝えてほしい。

★SNS活用で頻繁に情報発信してほしい。

●ワークショップを増やして欲しい。
●いろいろな議題について話し合ってみたい。
●普段関わらない人と意見を交換しあえるよ
うな機会が増えてほしい。

●外国の方と学べる場があってもいいと思う。

●糸満市をよくしたい。

★若者でも受け入れてくれる場所がほしい。

該当する施策（取り組み）

施策1 こどもまんなか社会の実現に向けた機運醸成

全部署でこども・若者からの意見聴取及び施策へ反映していくことの理解を深めるとともに、こども・若者の目に触れやすい媒体や多様な手段、ルートを活用するなど、こども・若者に情報が届くよう発信し、その意見を聴き、施策に反映させる取組を進めます。

施策2 こどもまんなか応援サポーター活動の推進

こども・若者のために何がもっともよいことを常に考え、こども・若者が健やかで幸
せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、こど
も・若者が健やかで幸せに成長できる社会の実現のため、こども・子育て施策の発信に
取組みます。

施策4 こども・若者を対象とした意見聴取の取組

こども・若者の意見表明機会と社会参画機会の確保、その意見の尊重と最善の利益の優
先し、糸満市が「若者の夢・目標を達成できるまち」となるよう、「いといとゆんたく
学生会議」等の取組により、こども・若者からの幅広い意見聴取を推進していきます。

施策5 多様な交流の推進

こどもや若者が交流体験を通して、異なる生活文化や価値観を理解し、協調性や社会性
を育むことで将来の糸満市を担う人材となるよう、青少年の交流の拡充・創出を図ります。

施策8 糸満市市民提案型まちづくり事業

それぞれの活動を通じて住みやすい地域社会実現のために、地域の活性化や課題解決を
目的として市民が自主的に取り組むまちづくり事業について、学生提案型（小学生～大
学生）の枠を設け、広く周知し、自らの行動によって地域や社会に働きかける経験を通
じ、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高める取組みを進めます。

多様な体験、活躍できる機会づくり

- こどもたちも楽しめるイベントを増やす。
- こどもたちがいろんな人と関わる機会や出会いの場が多くあると嬉しい。

施策7 関係団体との協働による収穫体験

関係団体との連携により、こども園でのゴーヤー及びニンジンの栽培・収穫体験、小学校におけるパッションフルーツ収穫体験や出前講座等の実施により、産地ブランドの確立や消費拡大、地産地消を図るとともに、こども・若者の創造力や好奇心を育みます。

こども・若者の居場所

- 図書館などの勉強できる場所を増やす。
- 無料で勉強できるスペースがほしい。

- ★無料の自習スペースがあったらいいな。
- ★教育環境を整えてほしい。

- ★学童期のこども達の居場所がもう少し多いといいな。
- ★学校以外にも子供の居場所必要だと思う。

- ★不登校生に勉強を教える会などを行なって欲しい。

施策90 公共施設等を活用した学習スペースの提供

学校や家庭以外での学習を希望するこども・若者が学習に取組めるよう、公共施設や地域資源を活用した学習スペース設置の取組を推進します。

施策21 こどもの居場所作りの推進

こどもが安心して過ごせる場所を確保し、食事の提供や生活指導、学習支援、キャリア形成支援等を行います。また、自治会や民間団体等を主体とした、こどもの居場所作りを推進します。

施策98 不登校、ひきこもり等への支援

不登校、ひきこもり、発達障害などのこどもやその保護者、また若年妊娠婦に対する手厚い専門的支援を行うため、拠点型こどもの居場所を継続実施します。

自殺対策、犯罪などからこどもを守る

★市役所に相談しづらい。名前をふせて相談できる方法を知りたい。

★こども・若者が自らの持つ権利や受けられる保証などを理解すること、家族以外に“助けて”が言える環境や地域との関わりをもつこと、身近なコミュニティだけでなく、1歩踏み出せば別のコミュニティがあることを体験することが必要。

★子どもの貧困や家庭教育の未熟さで、支援が十分でなく、非行や引きこもる若者や子どもも増えている。

●深夜に外に出ている学生がいる。

●治安が悪い。

★22時以降にも自転車でうろついてることが多いので見回りをしてほしい。

★深夜に小学生だけでコンビニに居る

★糸満市糸満付近の治安が悪い。

★通学路の安全確保。

●深夜の警察の見回りを増やしてほしい。

施策49 若者の悩みを受け止める環境づくり等の推進

失業や離職などの経済的問題やひきこもりなど生活していくうえでのさまざまな問題を抱えた方を対象とした無料相談窓口及び相談員を配置し、関係機関と連携して伴奏型支援を行います。

施策82 犯罪からこどもを守るための教育

生涯を通じて自ら健康をコントロールし、保持増進していく資質や能力を育成するため、薬物乱用防止教室の開催や警察や関係機関との連携により、学校における安全教育を支援します。

施策46 見守り活動の充実

学校の通学、帰宅時間に、PTAや地域団体等の協力による通学路での見守り活動を行い、交通安全の確保に努めます。また、地域防犯パトロールや関係機関と連携し、犯罪を抑止し、安全安心なまちづくりに努めます。

子どもの登下校時に学校、PTA、地域住民、関係機関等と連携し、交通事故防止活動を行います。子どもが犯罪に巻き込まれない為に警察や関係機関等と連携し、地域防犯パトロール等を行い、子どもの安全確保に努めます。

施策47 地域における子どもの安全の確保

子どもたちが、自ら地域を歩いて危険箇所や安全な場所等をまとめた「地域安全マップ」を継続的に作成し、マップの情報を地域にも広げ、地域住民に呼びかけて地域環境の改善に取組むよう図ります。

また、子どもたちの緊急避難場所である「子ども110番の家」の役割や所在地について、子どもたちや保護者に周知します。

経済的支援

●奨学金の制度を増やしてほしい。

★経済的なことも含めて留学のハードルが高く留学することができなかつたので、奨学金やプログラムを考えて欲しい。

★県外への進学等の支援をしてほしい。

★貧困家庭のこどもたちの学力は低い傾向にあり、十分な学力が身につかず進学の機会を失うこどもたちが多くいる。那覇市の「まなびクーポン」のようなサービスができるとよい。

施策107 奨学金給付・貸与事業

進学の意欲と能力を有する学生に対し、就学に必要な学資を貸与または給付し、有能な人材を育成するため、奨学金の給付又は貸与事業を継続して実施します。また、児童・生徒・学生の教育の振興を図るため、国や法人等が実施する奨学金制度の周知に努めます。

施策89 糸満市学習等支援事業の推進

家庭の事情により、養育環境に課題がある中学生等に対して高校受験のための進学支援や、学校の勉強の復習、家庭学習の習慣づけ、学び直し等、個々の状況に応じた学習支援に取組みます。

就労支援

★若者が市外に出て行かないように安心、安定して働ける商業施設を作る。

★若者が活躍できる場所を増やす。

★市内で働ける場所が限られていて、通勤に時間がかかったり、働きたいのに働けない。

★若者の稼ぐ力や経済力をあげるためにキャリア教育が必要。

★プログラミング教室を増やしてほしい。

★子育て中の女性が産後もスムーズに社会復帰が叶うような職業案内や短時間で高時給をあげられるような、リスクリソースの推進やフリーランスに転向する働き方講座など充実させてほしい。

●バイトできるところが少ない。

施策99 真栄里地区における企業誘致の推進

若者が経済的な不安がなく、糸満市で良質な雇用環境の下で、将来への展望を持って生活できるよう真栄里地区における企業誘致を推進します。

施策100 女性の多様な働き方の推進

女性のライフステージに応じた多様な働き方を実現するため、リスクリソースによる所得増や在宅就労の促進など、市内女性を対象とした「女性デジタル教育・就労支援事業（糸満でじたる女子プロジェクト）」等の取組を継続していきます。

施策101 若者の雇用促進

若者の雇用促進に向け、県や国等の関係機関と連携し、企業説明会や相談窓口設置などの取組について市の広報媒体を活用した情報提供を行い、若年者の就労に繋がる取組を支援します。

施策102 充実した雇用環境整備

若者が良質な雇用環境の下で、将来への展望を持って生活できるよう企業等が、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの理解を深められるよう、関係機関と連携し、各種法令やセミナーの開催等について積極的な周知を図ります。

まちづくり・環境整備など

- 車を利用できない学生の移動範囲が狭い。
- 交通面が不便。

- 街灯を増やしてほしい。
- 道路や歩道の舗装。
- 歩道がでこぼこしている。
- 草がたくさん生えているから、ボランティア活動で草刈り。

★遊具が壊れている公園がある。

施策108 学生の通学移動に対する支援策の実施

子ども・若者が、経済状況や居住地域にかかわらず安心して通学や日常の移動ができるよう、家庭環境等により支援を必要とする世帯を対象とした県のバス通学費等支援事業等の交通支援制度の周知及びデマンドバス『いとちゃんmini』の小中学生の運賃割引等を通じて、公共交通の利用支援と利便性の向上を図ります。

施策10 安全な道路、交通環境の整備充実

道路整備については、ユニバーサルデザイン化や自転車利用を考慮するとともに、道路美化ボランティア制度を活用した道路美化・清掃活動等による安全で快適な道路環境整備に努めます。

たくさんのご意見ありがとうございました。

いただいた声から、多くの気づきや新しい視点を得ることができました。

これからもこども・若者が意見を伝えられる場づくりを続けていきます。

「糸満市こども・若者計画」全文について

糸満市こども・若者計画では、これらの取組のほかに、国の子育て支援に関する法律にそって、こども・若者のみなさんへの教育や保育等の取り組みについても、どのように対応していくか、といった内容も定めています。

計画全文はこちらを参照ください。

[糸満市こども・若者計画（案）のパブリックコメントの実施について](#)